



NO.464

R8年4月1日

-発行-

〒869-1217

熊本県菊池郡

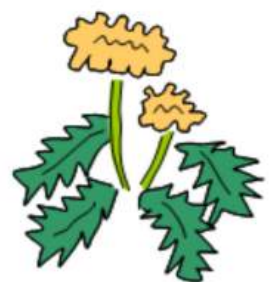
大津町森54-2

社会福祉法人

三気の会

三気の里

☎096-293-8100



『あれから10年 その2』

施設長 木下昭二

熊本地震から、まもなく10年を迎えようとしています。平成28年4月14日の前震、そして16日の本震で経験した二度の大きな揺れと衝撃は、今でも鮮明な記憶として忘れることが出来ません。あの時の経験は私だけでなく、多くの人の胸に深く刻まれていることと思います。

地震では、熊本の象徴である熊本城が甚大な被害を受け、天守閣の瓦はほとんどが崩れ落ち、石垣も大きく損傷しました。阿蘇神社では楼門が倒壊し、長い歴史を支えてきた姿が一瞬で失われました。震源地となった益城町では家屋倒壊が相次ぎ、道路は裂け、日常が音を立てて崩れ落ちる光景を前に、自然の力の大きさと恐怖、人間の無力さを痛感させられました。

三気の里でも、利用者さん・

スタッフともに大きな恐怖と不安に包まれ、続く余震に心が休まることはありませんでした。特にグループホーム「あらた」と「ひだまり」の被害が大きくなり、建て替えを余儀なくされました。そんな中で心強かったのは、本震直後、道路状況もままならぬ中で駆けつけてくださった大分・長崎の施設関係者の皆様、支援団体から寄せられた物資や専門職の応援、励ましの言葉でした。離れた場所から届く温かい支援は、私たちに「一歩一歩復旧・復興に向かって進んでいこう」という力を与えてくれました。そのご厚意にどれほど助けられたか、今でも言葉にできないほど感謝しています。

一方、ご自宅から生活介護を利用されている方々の避難生活は想像を絶するものでした。特に避難所に行けず、連日の車中泊を余儀なくされ、夜になる

と揺れへの恐怖が再び胸を締めつけた、と伺いました。その状況の中でも利用者さんの安心・安全を守るため、スタッフの皆さんは自らの被害対応を後回しにし、互いに声を掛け合いながら誰一人取り残さないという思いで支援を続けてくれました。その姿勢に、ただただ感謝の思いでいっぱいでした。

あの時の助けと協力があったからこそ、三気の里は混乱の中でも支援を継続し、利用者さんの生活を守り抜くことができたのだと思います。

そして10年。熊本城は少しずつ元の姿を取り戻し、天守閣は昨年公開に至りました。石垣を含む完全復旧にはまだ時間を要しますが、堂々と立つ天守閣に安心感を覚え、益城町には新しい住宅や道路が整備され、震災前の賑わいが戻りつつありま

す。三気の里もまた、地震を経験したからこそ強くなることができました。防災体制の見直し、建物の安全性向上、地域との連携強化。多くの支えと努力の積み重ねが、今の姿を支えています。

私たちはこの10年を、「感謝の10年」として胸に刻み、利用者さん、スタッフの皆さん、そして施設を支えてくださったご家族の皆様すべてに、改めて深い感謝をお伝えしたいと思います。

そして今、三気の里が果たすべき役割はより明確です。災害に強い施設づくりを進め、利用者さんの命と生活を守り抜くこと。地域と共に支え合い、誰もが安心して暮らせる社会を築くこと。そして、あの日の経験を風化させることなく未来へと伝えていくことです。

熊本地震から10年。あの日を忘れず、支えてくださった全ての方々への感謝を胸に、これからも三気の里は地域と共に歩み続けてまいります。



4月



『One team』

新年度がスタートしました。今年度の1班は昨年度とスタッフ、利用者ともに変わることなくスタートすることができました。メンバーが変わらないということにメリット、デメリットそれぞれあると思いますが、私は班などの集団においてメンバーが変わらないということは、前年の課題を既に共有できており、その解決に向けて、スムーズに行動することができるという面でメリットだと考えています。

今年度の班のテーマは「One team」です。昨年度、研修などを通して、チームアプローチの重要性を再認識することができました。情報の共有や報告、相談などを密に行うことができる環境が整ったように感じました。メンバーが変わっていない利点を活かし、今年度はよりチーム一丸となり一つ一つの課題を解決できるようにチームの力を伸ばしていきたいと思います。

副主任 清田健士郎

『笑顔を求めて』

令和8年度がスタートしました。今年度の2班テーマは『笑顔あふれる班づくり』です。利用者さんの笑顔を引き出すことが、私たち支援員にとって大切な仕事のひとつだと私は考えます。でも、心からの笑顔を見せる時は人それぞれ違いますし、何を提供すれば喜んで貰えるか利用者さんに確認することも困難であることが多いです。その為、生育歴や過去の記録に目を通すと共に、日頃の利用者さんとの関わりからその方が何を好み何に幸福を感じるのか一挙手一投足に注目し、そこから推測、立案、実施、評価を行い、利用者さんにとって有意義な時間の提供に繋げていかなければなりません。

心からの笑顔…簡単な様でとても難しいです。ですが、自分の事に置き換えた時、笑う場面には必ず傍に信頼し合える家族、友人、職場の同僚などが居ます。結局、“何をするか”よりも“誰とするか”の方が大事なのかもしれません。目の前の利用者さんに“私と〇〇をしたい”と思ってもらえる存在に成長できるよう今後も精進していきます。

副主任 杉本安代



『沢山の想い』

入社して早くも8年が過ぎようとしています。年を取ると共に、一年一年が早く過ぎているよう感じています。さて、三班になり5年、リーダーになり2年目を迎えました。令和7年度は、リーダーになり初めての年であったこともあり、沢山の経験、勉強をさせて頂きました。特に、三班スタッフには、多くの事で支えてもらったと思っています。そんな中、リーダーとして一人一人のスタッフの支援にふれて、本当に皆さん「利用者さんの事を思って支援をしているな～」と感心をしています。

利用者さんの好みで、似合う服を代理購入しているAスタッフ。晴れの日には利用者さんと散歩をし、交流を深めるBスタッフ。一人一人が、利用者さんと様々な方法でコミュニケーションを取り、心から相手を理解しようとするスタッフの姿を、沢山見てきました。そこには、利用者さんを思う沢山の「想い」がありました。令和8年度も沢山の想いを見つけ、ふれ、利用者さん、スタッフ共に支えていけるリーダーでありたい、と思っています。

副主任 早瀬 寛

『チーム4班』

ある日の日誌に記された4班利用者の方への食事介助の様子です。『今何を食べているか説明をしながら介助をしていると「うん」と返事をされて、食べたい時は口を開けられ、食べたくない時はしっかりと口を閉ざされて意思表示をされていました。』とありました。私は発語が少ない方に対して、声かけを忘れ自分のペースで食事介助をしたことがあります。食事場面だけではなく日常生活でも声かけが足りないと思うことがあります。日誌を読んで単に「食べる」だけではなく、意思疎通を図りながら、食事が出来たことを嬉しく思いました。利用者さん一人ひとりに合わせた関わり方が必要だと感じます。利用者さんが持っている強みを活かして様々なことを選び、暮らしをしていけるようチーム4班で力を合わせていきたいと思っています。

副主任 相馬 敦

『楽しんで楽しんで楽しんで楽しんで、楽しんで参ります』

今年度で、5班リーダー3年目を迎えます。現在取り組んでいる手もぎ作業の入荷が減量しており、来年末には作業が無くなるとのことで、今年度は、新たな作業の開拓も視野に入れながら、日々の生活を送って参ります。また、今年度の個別支援計画書に挙げられている主なニーズとしての「健康面」「コミュニケーション」「余暇活動」「口腔ケア」「身嗜み」「地域参加」といった6つに力を入れながら、取り組んでいきます。また、今年度から一人一人の意思を汲み取っていきながら、「意思決定支援」に繋げられるよう密に関わっていければと考えています。更に、利用者さん一人一人の笑顔に繋げられるような企画、計画を行いながら、利用者さんの笑い声が絶えない5班にしていきたいと考えています。スタッフ、一人一人が利用者さんの落ち着ける、安心できるような存在になることで、実現できるのではないかと考え、令和8年度をスタートさせて参ります。

副主任 松村雄一



BEST REE

『おかげさまで』

主任 森田康之

おかげさまで、BeTREEは事業開始から8年目を迎えました。開設当初から私たちが大切にしてきたのは、「どんなに重い障害があっても、働くことを通じて地域とつながる」という強い想いです。

これまでの7年間、私たちは多くの「働く姿」に伴走してきました。利用者さんにとっての「働く」とは、単にお金を得るだけではありません。誰かに必要とされる喜び、社会の一員であるという実感、そして何より「工賃アップ」という目に見える成果が、自分らしく生きていくための「自信」と「自立」を支える大きな力になると考えています。

私たちスタッフも、ただ「支援」をするだけでなく、共に汗を流すビジネスパートナーであ

りたいと考えています。プロとしてのコスト意識や社会常識を持ち、全力で「働くこと」を応援し、共に楽しむ。そんな活気ある現場を目指します。

今年度は、地域の困りごとを仕事に変える「ソーシャルビジネス」をさらに加速させ、一人ひとりの工賃をより高めていくことに挑戦します。初心を忘れず、誰もが主役になれる事業所になるように精進します。

GH

『楽しく、元気な我が家を』

目指して』

副主任 中村奈実

今年度より、グループホームの副主任を務めることになりました。グループホームでは3年目を迎えます。私の好きな言葉

で「神様は乗り越えられる試練しか与えない」という言葉があります。苦難や困難は人を成長させ、人間としての強さを磨く

ためにあると思っています。「私らしく」をモットーに頑張っ

ていきたいと思っています。

グループホームは、ひだまり夜間支援の柳田スタッフが定年退職され、新しいスタッフを迎えてのスタートとなります。変化の苦手な利用者さんにとって、年度替わりは不安もある時期です。3グループホームで情報を共有し、協力して、生活の安定を守るための支援、穏やかに過ごせるような雰囲気や環境作りを続け、利用者さんにとってよい良い場所づくり（我が家）を目指していきます。そして、皆さま年齢を重ねて今まで以上に「寄り添う支援」が必要だと思っています。今年も皆さまが大きな怪我なく、元気に楽しく、安心して過ごせるように、グループホーム一同、心を込めて寄り添います。宜しく願います。

アンパ

『1年が経過して...』

支援員 弓削綾子

新体制になって1年が経過しました。今までできなかった個

人のニーズに沿った活動や関係機関との連携が密にとれるようになりました。地域交流では月1回地域の方を講師として招いておやつ作りを行っています。利用者の皆さんも楽しんで参加され、美味しいものを食べて笑顔になられています。また、去年の11月から月1回出張アンパをオークスプラザで開催しています。そこでは創作活動や演奏会等が行われています。始めたばかりで利用される方は少ないですが、誰でも気軽に来られる場所となっていますので、ぜひ足をお運びください。

今年も、皆さまが気軽に来れるような居場所作りをしていきますので、宜しく願います。



事務長便り

事務長 寺田逸朗

業務効率化と生産性向上の波が福祉業界にも押し寄せてきました。

これまで三気の里では、効率化というよりも個々のニーズに応じた丁寧な対応をするために、業務は常に複雑化・煩雑化する傾向にあったように感じていました。

それをこれからは利用者さん一人一人のニーズを無視して画一的な支援をしないということなのかというと、そういうことではないようです。

むしろ利用者さん一人一人に丁寧に向き合うために、直接支援以外の業務負担を専門家やテクノロジーの力を借りて省力化してきた時間を利用者さんの生きがいや楽しみを増やすためのクリエイティブな活動にあてるという方向に動くと考えています。

近頃では働き方改革がずいぶん浸透してきましたが、福祉マイノリティをもつ職員さんは放っておくとつい頑張りすぎてしまいがちです。

「あれをしてあげたい」「これもしてあげたい」とよく耳にします。

「あれ」や「これ」が出来る時間を増やすための業務効率化を進めていく必要があると思います。

新任式

支援員 北岡 哲

新年度初日の4月1日、2年ぶりの新任式がありました。昨年度は、三気の里で感染症が蔓延した影響で開催できなかったのですが、今年度は無事に開催することができました。

今年度は、新しい職員を2名迎え入れることができました。新しく入られた職員が一人ずつ自己紹介と挨拶を行い、その挨拶、大きな拍手に包まれました。また、新任式と併せて今年度から利用を開始された利用者さ

んの名前紹介を行いました。本人の特性への配慮により、新任式に出席することは叶いませんでしたが、お名前のみ紹介し、参加の利用者から大きな拍手で歓迎されていました。

新任式の後には各班に分かれ、班所属スタッフの紹介と新担当発表が行われました。移動するスタッフを紹介されると、戸惑われる利用者さんごいたり、担当スタッフが発表されると笑顔で挨拶する利用者さんごいたり様々な様子が見られました。

令和8年度の初日はあいにくの雨となりましたが、満開の桜はその雨に濡れて、いっそう艶やかに感じられました。新たなスタートを切るスタッフの門出を桜の花も祝福してくれているように感じられた一日でした。



4月スケジュール

- 01(水) 新任式
- 02(火) 世界自閉症啓発デー
- 04(土) 世界自閉症啓発デーin玉名
(わっふる主催) ~05(日)
- 11(土) 三気の里家族会・芸術の日
- 17(水) リハの日
- 21(火) おやつの日 (クッキー)

- 22(水) 音楽の日
- 23(木) ゴールドクラブ

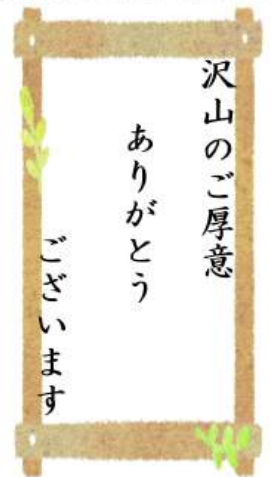
毎週月曜日 訪問理容サービス
 毎週水曜日 BeTREE役場販売
 BeTREE
 <営業時間>9:30~17:30



betreeJ14

- 【後援会ありがとうございます】
- 植原 郁子様
 - 江越 和信様
 - 佐藤 真理様
 - 松木 伴良様
 - 相良 勝郎様
 - 児島 清和様
 - 荻原 久雄様
 - 田中 基幹様
 - 伊野 憲治様
 - 伏貫 直美様
 - 岡本 史郎様
 - 坂井 省英様
 - 木本 信子様
 - 井本 幸雄様
 - 高橋 頌慈様
 - 佐々木 竜大様

- 【寄付物品】
- 魚谷 秀文様
 - 櫻木 勇夫様
 - 松村 俊介様
 - 渡邊 正司様
 - 米村 秋江様
 - 井上 律子様
 - 福永 敬子様
 - 森川 琇介様
 - 東坂 富士代様
 - 上田 タキ子様
 - 甲斐 みゆき様
 - 井上 優様
 - 清田 栄一様
 - 中村 秀隆様
 - 米田 孝一様
 - 田中 満子様
 - 坂梨 清美様
 - 小牧 博則様
 - 柴田 博子様
 - 亀崎 幸久様
 - 井上 ちえ子様
 - 金森 保様



- 石谷 可奈子様
- 榎本 貴美子様
- 岩崎 昭彦
- 勇明子様
- 小屋野 ミチ子様
- 宇都宮 建設様
- 松田 自動車様
- ダイハツ 大津様
- ヤマモト 住建様
- (有) 規工 川工務店様
- (有) 西日本 防災システム様
- Reフレッシュ 今村 義頼様
- 松本 麻梨那様
- 松田 健様
- 松山 健様
- 森 直人様



支援員 中村圭助

4月に入り、三気の桜も咲き誇っています。今年も出会いと別れの時期であり、三気の桜は何度見て来たのかと思いました。私も11年前に入社させてもらい右も左も分からない中、仕事を始めたのを思い出します。その中で先輩スタッフが優しく仕事を教えて頂いたり、同期のスタッフと励まし合ったりして最初の1年間を過ごしたように思います。それに関しては、11年たった今でも変わらず温かい環境だと思っています。自分も先輩方の様に関わっていきたいと思います。皆様、今年も宜しくお願いします。

編集後記